

ニューノーマル時代のDXを進めるIoT用 創エネルギー材料・デバイス研究の新展開

2021年3月18日(木) 10時~18時(予定)

<https://meeting.jsap.or.jp/symposium>

オンライン開催

ニューノーマル社会において、デジタルトランスフォーメーション(DX)の必要性が認識されています。エネルギー自立型エッジデバイスを可能にする環境発電は、DXに欠かせない技術です。フォノンエンジニアリングなどの新原理、機能性酸化物などの新材料、そして関連するデバイス・システム開発を、DXによる研究開発の新展開、環境発電技術によるDXの推進の両面から俯瞰し、情報共有、議論を行う機会を設けました。多くの学术界、産業界の関連研究者・技術者の方々のご参加をお待ちしております。

招待講演者

永野 智己 (JST/文科省)	DXによるデータサイエンス駆動型材料開発への期待
森 孝雄 (NIMS)	IoT環境発電用高性能熱電材料の開発および応用要件の検討
太田 裕道 (北大)	金属酸化物薄膜の熱電能・熱伝導
年吉 洋 (東大)	MEMS振動発電素子用シリコン酸化膜エレクトレット
Woochul Kim (Yonsei 大)	Health monitoring and thermoregulation based on wearable thermoelectric devices
高浦 則克 (日立製作所)	ニューノーマル時代におけるIoTプラットフォームと スマート社会
中嶋 宇史 (理科大)	振動エネルギーハーベスティングと機械学習の融合による 低消費診断系エッジデバイスの開発
菅原 徹 (阪大産研)	IoTセンサ機器のための熱電変換デバイスの開発 - デバイスを構成する材料と材料界面の信頼性 -
Adrien Badel (Savoie Mont Blanc大)	Non-linear power management circuits for vibrational energy harvester
村田 知紀 (KELK)	熱電エネルギーハーベスティングを用いた無線センサデバイス

一般講演も受け付けておりますので是非ご投稿下さい

企画

16.2 エネルギーハーベスティング研究グループ

6.3 酸化物エレクトロニクス, フォノンエンジニアリング研究会

世話人

鈴木 雄二 (東大)、田中 秀和 (阪大)、野村 政宏 (東大)、
秋永 広幸 (産総研)、上野 和紀 (東大)、組頭 広志 (東北大)、
田中 有弥 (千葉大)、中川原 修 (村田製作所)、松野 丈夫 (阪大)